

北陸植物学会会報

第13号

2023年11月

北陸植物学会 2023年度大会

日時：2023年11月12日（日曜日）午前10:30～

会場：新潟大学中央図書館ライブラリーホール

- * ホール内での飲食はご遠慮ください（蓋付き容器に入った飲料は利用可能です）。
- * マスクの着用など、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にご協力下さい。
- * 中央図書館は10:00から入館可能です（ホール開場までラウンジをご利用ください）。

I 研究発表（発表12分、質疑応答3分）

- 10:30 ○川原綾香¹、小林那奈美¹、大矢禎一²、西川周一³（¹新潟大・院・自然、²東大・院・新領域、³新潟大）
テッポウユリ花粉の発芽と花粉管の伸長に対するポアシン酸とポアシジエンの影響
- 11:45 ○横井洸太¹、林陽子²、松林嘉克²、篠原秀文¹（¹福井県大・生物資源、²名古屋大・院・理学）
ゼニゴケ特異的な硫酸化ペプチドホルモン MAPPY の機能解析
- 11:00 ○岩島亜季¹、古水千尋²、篠原秀文¹（¹福井県大院・生物資源、²広島大・自然科学研究支援開発センター）
根端メリステム活性を制御するペプチドホルモン RGF のゼニゴケオーソログ MpRGF の機能解析
- 11:15 休憩
- 11:25 日山津奈美、吉川伸哉（福井県立大学・海洋）
褐藻セイヨウハバノリの遊泳細胞放出における光の影響
- 11:40 中島大知、酒谷寿々乃、永田裕二、古坊海杜、濱田達朗（石川県立大・生物資源工学研究所）
ハエトリソウの LysM 受容体
- 11:55 ○成瀬真友香¹、唐原一郎²、玉置大介²（¹富山大・院・理工、²富山大・学術・理）
固体培養はコレオケーテの藻体形成を促進させる

- 12:10~12:40 総会（会員はご出席下さい）
- 12:40~13:20 休憩・昼食
- 13:20 山木泰陽、佐藤杏子（富山大・理・生物）
サギゴケ科とハエドクソウ科の細胞分類学的研究
- 13:35 大橋礼、佐藤杏子（富山大・理・生物）
キンポウゲ科7属の染色体研究
- 13:50 小西史夏¹、蒲池浩之²（¹富山大・院・理工、²富山大・学術研究・理）
環境ストレスがヘビノネゴザのプロアントシアニン含有量へ与える影響
- 14:05 峯田敬斗¹、野本友司²、岩川秀和²、西内巧³、鈴木孝征⁴、伊藤正樹²（¹金沢大・院・自然科学、²金沢大・生命理工、³金沢大・疾患モデル、⁴中部大・応用生物）
気孔前駆細胞特異的なTCXファミリータンパク質による転写制御機構と細胞分裂における役割
- 14:20 休憩
- 14:30 大関澄花¹、嶋田千香²、小越咲子²、風間裕介¹、池田美穂¹（¹福井県立大・生物資源、²福井工専・電子情報工学）
和紙原料の安定供給をめざしたトロロアオイ培養系の開発
- 14:45 ○小林壮生¹、鬼頭萌¹、池田美穂¹、西嶋遼¹、Dmitry A. Filaotv²、風間裕介^{1,3}（¹福井県大院・生物資源、²Oxford大・植物科学、³理研・仁科セ）
ヒロハノマンテマの性決定遺伝子 GSFY の誕生における CLV3 様遺伝子の分子進化
- 15:00 ○白矢武士¹、太田沙由理²、土田徹³（¹新潟農総研、²元新潟農総研、³元新潟農総研・作物研）
気象変動による炊飯物性変動要因となるタンパク質の探索
- 15:15 ○岩崎俊介、松澤凌也、榎本亘泰、牧夏帆（新潟大・理・生物）
核膜孔輸送因子の検定に利用可能な植物無傷核の調製
- 15:30 閉会

II 総会（12:10～12:40 頃）

- 1) 2022 年度庶務報告、会計報告
- 2) 今後の日本植物学会大会の運営と担当地区について（日本植物学会関連団体意見交換会報告）
- 3) 2024 年度大会の予定について
- 4) 会長候補者選挙について
- 5) その他